

ネコひっかき病って どういう病気？

子ネコから感染することが多い病気です

子ネコと遊ぶことの多い子供にみられ、ひっかかれたり、ノミに刺されたりして感染する病気です。

病原体はバルトネラ菌で、診断しにくい病気です。感染すると、痛みを伴う数個のリンパ節の腫れが、数日～数ヶ月間持続します。さらに傷口の化膿を伴うこともあります。ネコ以外にも、イヌ、サルからも感染することがあります。



ネコは感染していても症状がありません

人獣共通感染症 (Zoonosis) から あなたを守るために

🐱 動物に咬まれたりひっかかれたりしない
ように気をつけましょう

- 温和な動物を選んだり、しつこくしつて咬まれないようにしてください。
- 動物の爪を短くしておくといよいでしょう。

🐱 過度の接触はいけません

- キスをしたり、一緒に寝ないようにしましょう。

🐱 生肉を与えないように

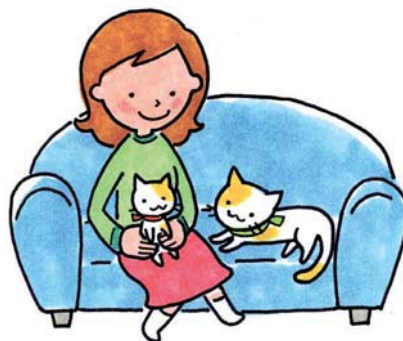
- 生の肉には病原体が入っていることがあります。加熱して与えるとよいでしょう。

🐱 排泄物は適切に処理しましょう

- 排泄物は速やかに処理しましょう。その後の手洗いも忘れずに。

🐱 定期的に検診を受けましょう

- 獣医師による定期的な検診で動物の健康を維持しましょう。また、ワクチンなどで予防できる疾病は予防しましょう。



2006年 日本小動物獣医師会
人獣共通感染症委員会編

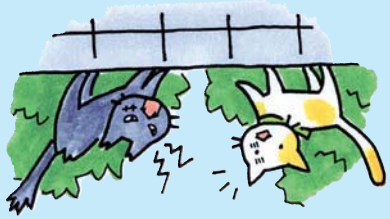
ネコひっかき病



どうやって感染するの？

ネコひっかき病は、こややって感染していきます。

ネコひっかき病の感染ルート

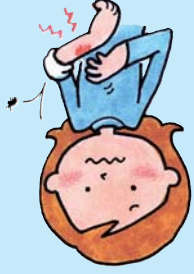


ネコは、バクトネラ菌を持ったノミや、感染したネコの接触によりうつります。
(症状はありません)

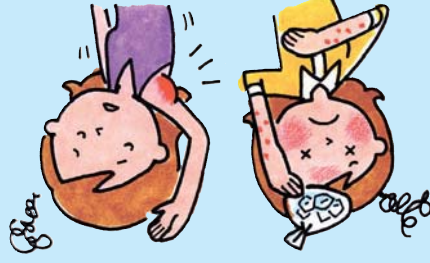
感染したネコがひっかいたり、密接なスキンシップなどによって飼い主に感染します。



または、菌を持ったノミに刺されて感染する場合もあります。



感染すると発熱し、しばらくすると丘疹ができます。また、リンパ節が腫れたり痛みが出たりします。



ヒトや動物に感染するようになるの？

ヒトの場合

症状

典型的な症状では、発熱し、受傷の数日から2週間後に丘疹ができます。これは治りが遅く、傷口が化膿することもあります。2～10週間後に局所のリンパ節が腫れてきます。これは数週間から1年におよぶこともあります(平均3ヶ月)。このうち40%はリンパ節が化膿します。また、症状が治まって、1年以上も経った後に再発することがあります。

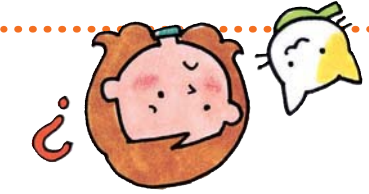
他に、10%ぐらいの人に眼症、脳炎、結節性紅斑などの症状が出ることもあります。

診断

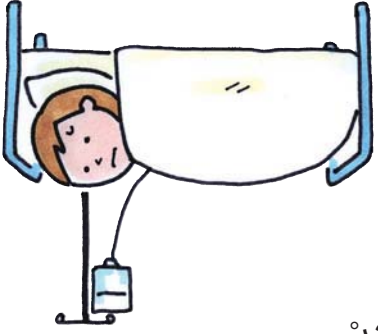
ネコから受傷、またはネコと密接な接触があったあとに、リンパ節の痛みや腫れが見られた場合は、医師にその旨を告げて診察を受けてください。バクトネラ菌の培養検査は難しく、また時間もかかるので、血清診断や、遺伝子診断などで確定します。

動物の場合

ネコは感染しても、ほとんど症状が出ません。しかし、バクトネラ菌を保有しているネコは10～15%にのぼります。ネコからネコへの感染は、ネ



一般的な抗生物質は効果が低い報告されていますので、治療法は医師と相談してください。



治療

ワクチンなどの予防方法はありません。しかし、受傷部の消毒や、ネコノミの駆除は有効です。子ネコとの接触に注意しましょう。とくに免疫機能が低下している人は、注意が必要です。



コ同士の接触や、ノミが媒介します。ネコへのワクチンはありませんが、定期的なノミの駆除は有効な方法です。獣医師にご相談ください。